



福高だより

平成 24 年 6 月
第 131 号
発行 京都府立
福知山高等学校

福 高といえば勉強。いつの頃からかそんな言葉を聞くようになった。京都北部はもとより、府内でも屈指の進学実績を誇る進学校である。ところで、福高は名実共に「北の雄」と目される名門校でありながら、学校行事や部活動が非常に盛んなことを、皆さんはご存じだろうか？
福高の部活動加入率は実に 77%。運動部・文

化部の総勢 561 名が部活動に所属し、勉強との両立を目指している。この数値は、進学校の中では異例の多さといえる。
なぜ福高生は部活動との両立ができるのか？そして、彼らにとって部活動とは何か？部活動を継続してきた 3 年生の証言から、その秘密や部活動に対する思いに迫った。

福 高 × 部活動

バ スケットボール部は、男子 40 名・女子 21 名が所属する人気運動部。日々ハードな練習をこなしながら勉強と両立させる秘訣とは？

僕たちバスケットボール部は、府下大会での勝利を目指して練習に励んでいます。さて、中高生にとって「勉強と部活動の両立」は重要なテーマですね。両立のコツは、**隙間時間を無駄にしない**ことです。成績の良い人は、練習前のちょっとした空き時間や学校での休憩時間をうまく利用しています。また、分からないことがあれば部活の仲間に聞くこともあります。それから、少し

ずつでもよいので**メリハリをつけてコツコツ**やることも大切です。
毎日の授業を大切に、それ以外でまとまった時間がとれないときは**集中力でカバー**するという意識をもち、勉強と部活動は必ず両立できます！



硬 式野球部への注目度は、運動部の中でも随一。そんな存在であるからこそ、彼らは礼儀を重んじ、陰の努力を惜しまない。野球道を歩む福高球児の精神とは？

僕たち硬式野球部は、夏の大会に向けて部員が一丸となって頑張っています。今回は「精神面」というテーマでお話をさせていただきます。僕たちは日頃から礼儀作法に気をつけ、学校周辺の清掃活動なども行っています。部活を 2 年以上続けて分かってきたことですが、挨拶や掃除などの**人としての基本**ができなければ、社会に通用せず、



勝負の世界でも通用しないと思います。清掃活動は自分の内面を磨く上でとても効果的ですし、地域を大切にする心も芽生えます。試合で苦しい展開になったときや緊張するような場面で、日頃の練習と選手の内面が大きく試合内容を左右します。ですから、**日頃から感謝の心を持ち、自分の精神を磨く**ことが、技術の向上や勝利につながると信じています。

放送部は、アナウンスだけでなく映像作品なども手がけ、近年目覚ましい活躍を見せるクリエイティブ集団。「全員が初心者からスタートする部活動」の魅力とは？

皆さんこんにちは、放送部です。『福高だより』では自慢の声をお伝えできなくて残念ですが、放送部のことを少しご紹介します。放送部は全員初心者からのスタートですが、先輩から色々とお教わることができます。ですから、先輩と後輩の仲がとても良く、厳しい上下関係はありません。でも、**日頃から高い意識を持ち、はじめがあります。**放送部では、アナウンスや朗読からドキュメン

ト・ドラマのような映像作品の制作まで様々な活動ができます。そのため、**人それぞれ目指すものが違って、自分のやりたいことを思う存分やる**ことができます。特に、**全くやったことのないことに挑戦したときは、自分の中に新しい世界が広がりました。**ゼロからのスタートだけに、のびしろが大きいですね。



書道部は、美術部や吹奏楽部とのコラボ・パフォーマンスを積極的に展開。見る者を熱狂させ、感動を与えるパフォーマンスや作品を生み出す「書道ガールズ」の原動力とは？

「書道ガールズ」でお馴染みの書道部です。書道部では、個人で書の練習をしたり書道展に出展したりするだけでなく、観客の前で音楽に乗せて書を書く「書道パフォーマンス」を行っています。最近では、学校外からの依頼で地域のイベントなどにゲスト出演させていただく機会も多くなりました。パフォーマンスの後、沢山の山の人から「**良かったよ**」と声をかけていた

くと**すごく嬉しい**ですね。そういう反応も創作の原動力ですが、私たちはいつも「**大きなメッセージを伝えたい**」と思っています。パフォーマンスで書を書く前やその文字を選ぶときは、やはり**メッセージ性を意識**しますね。書道部には「静と動」があるように思います。パフォーマンスのときは、個人で静かに書いているときとは違った面白さがあります。



吹奏楽部と定期演奏会は切っても切り離せない。その定期演奏会は、今年度で第 50 回の節目を迎える。過去・現在・未来へと受け継がれる伝統とは？

吹奏楽部の伝統ですか？実はそんなに堅苦しいルールはないんです。私たちは**先輩の取組を参考にしながらも常に新しいことに挑戦**しています。その中で、今の実情に合わないことは思い切って廃止することもありますね。例えば、定期演奏会の内容や曲目をガラッと一新したり、地域の方にも気軽にお越しいただける「てるてる



コンサート」を数年前から開催しています。先輩方との交流は少ないのですが、定期演奏会などには 20 年以上前の先輩も応援に駆けつけてくださいます。吹奏楽部には歴史と伝統がある一方で、現役生が自主的に考え、その時代その時代に合うような運営を行っています。この**温故知新の伝統**は、ぜひ後輩にも受け継いでほしいですね。

福高では、生徒に対して部活動への加入を勧めている。そこで、生徒指導部長の武内教諭に部活動に所属する意義について語ってもらった。

高校時代の**受験勉強と部活動は「今しかできないこと」**だと思っています。ですから、福高生にはこのふたつに努力するよう求めています。確かに、部活動は大学でもできます。しかし、高校時代の仲間と目標に向かって努

力する経験は、個人の成長や高校生活を充実させる上で重要だと思います。部活動という集団の中で自分を磨くことは、**勉強との相乗効果**も期待できると思いますし、勉強以外に得られることも多いでしょう。